

日本産業衛生学会  
近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会  
〒602-8048 京都市上京区下立売通  
小川東入ル  
中西印刷株式会社（日本産業衛生学  
会近畿地方会事務局支局）  
発行責任者 林 朝茂（地方会長）  
<https://jsohkinki.smoosy.atlas.jp/ja>

## 第74回日本産業衛生学会近畿地方会総会および学術講演会の開催案内

近畿地方会会長 林 朝茂

### 第74回日本産業衛生学会近畿地方会総会

日時：2026年5月27日（水）18：00～18：30

場所：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）10階 第6会場  
大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

◎本ニュースに同封の「総会出欠確認」用のハガキを5月18日（月）必着でご返送ください。

### 第74回日本産業衛生学会近畿地方会学術講演会

＝第99回日本産業衛生学会特別研修会（産業医研修会）

◎例年実施している学術講演会は5月31日（日）の第99回日本産業衛生学会特別研修会に代えさせていただきます。

日時：2026年5月31日（日）9：30～16：00

場所：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）10階

特別研修会は産業医研修会となっておりますが、近畿地方会会員の皆様は第74回日本産業衛生学会近畿地方会学術講演会ですので、医師に限らず、参加することができます。

本年度の日本産業衛生学会近畿地方会総会および学術講演会は、第99回日本産業衛生学会の開催にあわせ、現地開催にて実施いたします。本大会は、わが国の産業保健が直面する多様かつ複雑な課題に対し、実践と学術の両面から向き合う重要な機会であると考えております。とりわけ近年、働き方の多様化や産業構造の変化に伴い、産業保健に求められる役割は一層拡大しており、従来の枠組みにとどまらない柔軟かつ実践的な対応が求められています。こうした状況を踏まえ、本地方会としても、現場に根ざした課題意識と学術的根拠を往還させる場を提供することを強く意識し、本企画を準備いたしました。

また、本年度の学術講演会は、第99回日本産業衛生学会終了後に特別研修会として実施することにより、学会で得られた知見を単なる理解にとどめることなく、具体的な実務へと接続することを意図しております。産業医のみならず、保健師、看護職、技術専門職をはじめとする産業保健に関わる多様な専門職など、多職種が連携しながら産業保健を推進していくことの重要性が一層高まる中、本講演会がそれぞれの立場から実践を見直し、次の一歩につなげる契機となることを期待しております。

なお、日本産業衛生学会近畿地方会総会と学術講演会は、開催日が異なりますので、お間違えのないようにご注意ください。

今年度の学術講演会は、第99回日本産業衛生学会のメインテーマである「すべての働く人への産業保健—実践と学術の協働で挑む—」の趣旨を踏まえ、その内容を具体的な産業保健の実務および知識の側面から展開するものとして企画いたしました。

学術講演会では、①中小企業の産業保健と法、②メンタルヘルス一次予防としての職場環境改善の実際、③すべての労働者を化学物質から守る：産業保健に期待される役割、④小売業における労働災害防止の実際、⑤職域におけ

るハラスメント対策の5つのテーマを取り上げ、それぞれの専門家をお招きし、ご講演いただきます。

### 〈プログラム〉

講演1（9：30～10：30）

日本医師会認定産業医認定単位：生涯・更新 1.0単位

「中小企業の産業保健と法」

演者：澁川 亮 先生（弁護士法人英知法律事務所 弁護士）

講演2（10：40～11：40）

日本医師会認定産業医認定単位：生涯・専門 1.0単位

「メンタルヘルス一次予防としての職場環境改善の実際」

演者：深井 恭佑 先生（株式会社リードウェル 代表取締役（代表医師））

講演3（11：50～12：50）

日本医師会認定産業医認定単位：生涯・専門 1.0単位

「すべての労働者を化学物質から守る：産業保健に期待される役割」

演者：中原 浩彦 先生（NAOSHコンサルティング 代表）

講演4（13：50～14：50）

日本医師会認定産業医認定単位：生涯・専門 1.0単位

「小売業における労働災害防止の実際」

演者：河津 雄一郎 先生（株式会社平和堂健康サポートセンター 統括産業医／労働者健康安全機構滋賀産業保健総合支援センター 所長）

講演5（15：00～16：00）

日本医師会認定産業医認定単位：生涯・専門 1.0単位

「職域におけるハラスメント対策」

演者：三木 明子 先生（関西医科大学 看護学部長・看護学研究科長）

### 開催方法について

本年度は現地開催のみとさせていただきます。詳細は、第99回日本産業衛生学会のホームページおよびメーリングリストにてお知らせいたします。

会員の皆様のご積極的なご参加を心よりお待ちしております。

【お願い】日本産業衛生学会ホームページ（<https://www.sane.or.jp/>）の右上「会員ログイン」より「マイページ」の「プロフィール変更」からメールアドレス等の登録情報をご確認いただき、最新のものになるよう必ず更新してください。

### 〈参加申込〉

次ページの第74回日本産業衛生学会近畿地方会学術講演会＝第99回日本産業衛生学会特別研修会（産業医研修会）申し込み要領をご覧ください。

### 〈単位申請〉

日本医師会認定産業医認定単位：生涯・更新 1.0単位、生涯・専門 4.0単位

# 第74回日本産業衛生学会近畿地方会学術講演会申し込み要領 (第99回日本産業衛生学会特別研修会(産業医研修会))

特別研修会は産業医研修会となっておりますが、近畿地方会会員の皆様は、第74回日本産業衛生学会近畿地方会学術講演会ですので、医師に限らず、参加することができます。

### 【参加費】

第74回日本産業衛生学会近畿地方会学術講演会への参加は、第99回日本産業衛生学会の参加登録が必須ですが、追加の費用は不要です。

### 【申し込み方法】

●第99回日本産業衛生学会の参加登録、事前クレジット払いを完了されている場合：第99回日本産業衛生学会のホームページの参加登録からログイン後、詳細(参加登録情報)ボタンより特別研修会の申込みをしてください。

●第99回日本産業衛生学会の参加登録、事前クレジット払いを完了されていない場合：第99回日本産業衛生学会の参加登録が必要です。

第99回日本産業衛生学会のホームページ <https://convention.jtbcom.co.jp/sanei99/> の左側

特別研修会 | 日程：5月31日(日) をクリックしてください。

まずは、第99回日本産業衛生学会の参加登録をお済ませいただき、併せて特別研修会(産業医研修会)の申込みをしてください。

### 【受け付け期間】

～5月30日23:59まで。

### 【諾否の連絡】

受講の可否の連絡はありません。

定員は800名ですので、全員受講可能です。

## 2026年度日本産業衛生学会近畿地方会総会・代議員会の開催案内

日本産業衛生学会近畿地方会総会・代議員会と、学術講演会は、開催日が異なりますので、お間違えのないようにご注意ください。

開催日：2026年5月27日(水)

場所：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

10階 第6会場

- 2026年度日本産業衛生学会近畿地方会代議員会 17:30～18:00
- 2026年度日本産業衛生学会近畿地方会総会 18:00～18:30

◎本ニュースに同封の「総会および代議員会出席確認」用のハガキを5月18日(月)必着でご返信ください。

◎会場へのアクセス

<https://www.gco.co.jp/visitor/access/>



## 2025 年度近畿地方会収支報告および 2026 年度予算

### 1. 収入の部

科 目	2025 年度予算額	2025 年度決算額	2026 年度予算額	決算額の備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	500,000	16,000	0	
協賛金等収益	0	0	0	
参加登録料収益	500,000	16,000	0	第73回学術講演会 会員：195名 非会員：309名 (内、産業医単位不要8名×参加費2,000円)
受取補助金等	1,800,000	1,976,978	1,910,000	
受取本部助成金	1,800,000	1,976,978	1,910,000	本部からの助成金1,522名分 支給金額=基礎助成金+会費入金済会員数× 1,000円-2024年度源泉額 =500,000円+1,522名×1,000-45,022円 =1,976,978円
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取負担金	2,200,000	2,492,000	2,200,000	
受取活動費	2,200,000	2,492,000	2,200,000	地方会活動費 1,246名分
雑収益	500	914,180	5,000	
受取利息	500	7,583	5,000	利息
雑収益	0	906,597	0	第65回近畿産業衛生学会残金返金 振込人不明入金(2,000円×1件)
経常収益計	4,500,500	5,399,158	4,115,000	

### 2. 支出の部

科 目	2025 年度予算額	2025 年度決算額	2026 年度予算額	決算額の備考
事業費	4,976,150	4,954,405	2,840,000	
臨時雇賃金	50,000	0	0	学術講演会の臨時雇い人員なし
会場費	460,000	67,793	200,000	若手活性化プロジェクト会場費、茶菓子代など
旅費交通費	180,000	24,710	15,000	学術講演会打合せの交通費、若手活性化プロジェクト出役の交通費
通信運搬費	10,000	0	10,000	
印刷製本費	120,000	54,125	50,000	ニュース封筒宛名印刷など
懇親会費	0	0	0	
消耗品費	20,000	23,030	10,000	配布資料印刷のためインクジェットインク、コピー用紙など
機関紙発行費	810,000	768,550	810,000	地方会ニュース印刷発送費
支払手数料			4,000	2026年度より新設：これまで「雑費」に計上していた振込手数料等
研究費	50,000	0	50,000	
諸謝金	160,000	0	0	学術講演会謝金なし、労務提供記念品なし
学会助成金	1,479,150	2,479,150	0	第65回近畿産業衛生学会(1,479,150円)、第99回日本産業衛生学会等(1,000,000円)
協議会助成金	0	0	0	
大会研修会助成金	0	0	0	
部会助成金	450,000	450,000	600,000	150,000円×3部会(産業保健看護部会辞退)
研究会助成金	50,000	50,000	50,000	50,000円×1研究会
委託費	890,000	892,155	890,000	事務支局88万円+振替受払通知票出力12,155円
開発保守費	242,000	142,582	150,000	HP関連としてアトラスのSMOOSY利用料(2025年3月～2026年2月)132,000円、近畿地方会レンタルサーバー年間利用料6,600円、ドメイン(jsoh-kinki.jp)年間利用料3,982円
雑費	5,000	2,310	1,000	振込手数料等
管理費	539,401	489,492	1,112,400	
給料手当	0	0	0	
理事幹事会費	140,000	89,970	100,000	幹事会・代議員会・総会会場費、Zoom契約料
旅費交通費	8,000	6,320	110,000	会計監査交通費
減価償却費	1	1	0	パソコンの減価償却費(本部指示による)
通信運搬費	80,000	93,467	100,000	会計監査資料送料、総会・代議員会用はがき後納手数料、レターバック代など
役員改選費	10,000	0	500,000	
印刷製本費	120,000	106,393	120,000	活動費振替用紙・封筒印刷費・総会用・代議員会用はがき
消耗品費	20,000	32,246	20,000	配布資料印刷のためインクジェットインク、コピー用紙など
支払手数料			3,000	2026年度より新設：これまで「雑費」に計上していた振込手数料等
委託費	158,400	158,400	158,400	会員管理システム保守費用
雑費	3,000	2,695	1,000	振込手数料等
経常費用計	5,515,551	5,443,897	3,952,400	
当期一般正味財産増減額	-1,015,051	-44,739	162,600	
一般正味財産期首残高	7,186,711	7,186,711	7,141,972	
一般正味財産期末残高	6,171,660	7,141,972	7,304,572	

## 2025 年度事業報告

### 1. 地方会学会の開催

#### 第 65 回近畿産業衛生学会

日時：2025 年 11 月 8 日（土）10：30～18：00

場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

現地 + オンデマンド配信

学会長：西田 和彦（長谷工クリニック）

内容：テーマ「生涯現役社会に向けた産業保健の取り組み」

1) 一般演題：17 題

2) 教育講演「人生 100 年時代の就労と健康：中高年労働者における血圧管理と産業保健の役割」

演者：山本 浩一（大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学教授）

3) 基調講演「生涯現役を支える身体バランス：労働災害の疫学が示す未来」

演者：財津 将嘉（産業医科大学 高齢労働者産業保健研究センター長・教授）

4) シンポジウム：「生涯現役社会に向けた女性への産業保健の取り組みを考える」

「生涯現役社会のための仕事と治療の両立支援～乳がん患者への取り組み～」

演者：赤羽 和久（赤羽乳腺クリニック院長）

「産業保健師がつなぐ「健康」と「働く」のこれから～女性が安心して働き続けられる企業を目指して～」

演者：高木 智子（(株) コーサー ライフ & ウェルネス サポートセンター ウェルネス推進室）

「妊婦から始まるお口の健康～産業保健が要（かなめ）～」

演者：安田 恵理子（大阪歯科大学歯学部 口腔衛生学講座）

参加者数：317 名 + オンデマンド配信にて延べ 328 回視聴

### 2. 地方会総会の開催

#### 第 73 回近畿地方会総会および学術講演会

日時：2025 年 6 月 14 日（土）

場所：大阪市立阿倍野区民センター

1) 地方会総会 11：40～12：15

委任状 476 名、出席者 51 名

2) 学術講演会 14：00～17：20 現地開催

テーマ「いま求められる産業保健の知識」

講演 1：「安衛則改正に伴う職場の熱中症対策」

演者：堀江 正知（産業医科大学産業保健管理学教授）

講演 2：「皮膚吸収性有害物質の性質やその衛生管理等に」

演者：豊岡 達士（独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所（湘南地区）有害性試験研究領域開発グループ）

講演 3：「企業におけるハラスメント対策」

演者：田中 健吾（大阪経済大学経営学部教授）

参加者数：504 名

### 3. 地方会役員会の開催

#### 代議員会

第 1 回 2025 年 6 月 14 日（土）11：00～11：30

大阪市立阿倍野区民センター

委任状 55 名、出席者 43 名

第 2 回 2025 年 11 月 8 日（土）10：00～10：30

大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

委任状 51 名、出席者 46 名

#### 幹事会

第 1 回 2025 年 6 月 14 日（土）10：00～11：00

大阪市立阿倍野区民センター

第 2 回 2025 年 11 月 8 日（土）9：00～10：00

大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

### 4. 地方会部会活動

#### 1) 産業医部会

(1) 第 30 回近畿産業医部会研修会（担当幹事：黒木 和志郎）

テーマ：「疲労と就労：科学的評価と実践」

日時：2025 年 10 月 25 日（土）14：00～16：40

場所：国民會館大阪城ビル 12 階大ホール

基調講演「疲労と科学的評価」

座長：濱田 千雅（大阪ガス株式会社 人事部 Daigas グループ健康開発センター）

基調講演①「産業保健における疲労管理～疲労科学と

脳神経科学に基づく科学的評価の視点から」

演者：水野 敬（大阪公立大学健康科学イノベーションセンター 特任教授/センター副所長）

基調講演②「疲労と就労～労働者の疲労と評価の視点から」

演者：久保 智英（労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター 上席研究員）

シンポジウム「産業保健に求められる疲労評価と実践」

座長：黒木 和志郎（パナソニック健康保険組合産業保健センター 健康管理センター副所長）

「産業医の立場から」

演者：内山 鉄朗（かんさい産保サービス合同会社）

ディスカッション

「産業保健に求められる疲労評価と実践～将来的に求められる疲労評価とその対策とは?～」

パネリスト：水野 敬（大阪公立大学健康科学イノベーションセンター 特任教授/センター副所長）

パネリスト：久保 智英（労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター 上席研究員）

パネリスト：内山 鉄朗（かんさい産保サービス合同会社 代表）

参加者数：140 名

#### (2) 役員会

第 1 回役員会 2025 年 10 月 25 日（第 30 回近畿産業医部会研修会開催時）

第 2 回役員会 2026 年 1 月 28 日（オンライン）

### 2) 産業保健看護部会

#### (1) 定例研修会開催

日時：2025 年 10 月 4 日（土）13：00～17：00

場所：グラングリーン大阪 北館 6F

講演：「企業での健康情報等の取扱いと法～メンタルヘルス情報を焦点に～」

講師：三柴 丈典（近畿大学法学部 教授、日本産業保健法学会 副代表理事）

懇談会：「職場診断と経営層との連携」

講師：五十嵐 千代（産業保健看護部会部 会長）

参加者数：66 名

(2) 産業保健看護専門家制度「登録者認定試験」実施協力：2025 年 6 月 22 日（日）

(3) 幹事会：3 回開催

2025 年 3 月 12 日、5 月 8 日、10 月 4 日

(4) メールマガジン配信：2025 年 7 月 14 日、8 月 28 日、9 月 16 日、9 月 27 日

### 3) 産業衛生技術部会

#### (1) 2025 年度産業衛生技術部会研修会

日時：2025 年 7 月 12 日（土）13：30～16：30

場所：ふれあい貸し会議室梅田 No127 大阪駅前第 1 ビル

テーマ：高齢労働者のための安全な作業姿勢と実践事例～エイジフレンドリーガイドラインに基づく取り組み～

講演 1：中高年女性労働者における筋骨格系障害の予防に向けた対策について

講師：佐藤 望（近畿大学総合社会学部 准教授）

講演 2：人にやさしい職場を目指して：OWAS 法による作業姿勢の評価の実践と AI の活用

講師：加美 綾子（パナソニック健康保険組合 産業衛生科学センター）

参加者数：42 名

#### (2) 2025 年度産業衛生技術部会総会

日時：2025 年 11 月 8 日（土）12：30～13：20

場所：ドーンセンター 5 階 特別会議室

(3) 幹事会：4 回開催

2025 年 5 月 16 日、7 月 12 日、11 月 8 日、2026 年 2 月 8 日

### 4) 産業歯科保健部会

#### (1) 2025 年度第 4 回近畿産業歯科保健部会総会

日時：2025 年 3 月 30 日（日）10：30～

場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

#### (2) 第 4 回近畿産業歯科保健部会研修会

日時：2025 年 9 月 7 日（日）10：30～12：00

場所：大阪府立労働センター（エル・おおさか）

テーマ：「産業歯科における多職種連携」

講演 1：「産業歯科保健に対する大阪府歯科医師会の取り組み」

講師：山本 道也（一般社団法人大阪府歯科医師会 常

務理事、産業歯科健対策室 室長（歯科医師）  
講演2：「歯科特殊健診の現状と課題（歯科医師・労働衛生コンサルタントの立場から）」

講師：小出 紀子（小出歯科医院 院長、小出紀子労働衛生コンサルタント事務所 所長（歯科医師・労働衛生コンサルタント））

講演3：「歯科・栄養・運動などの総合的な健康づくり支援の取り組みについて～（一財）NS メディカル・ヘルスケアサービスの場合～」

講師：吉田 俊香（一財財団法人NS メディカル・ヘルスケアサービス（歯科衛生士））

講演4：「A社事業所歯周病健診事例紹介～健康経営取り組みも含めた多職種連携について～」

講師：山形 歩美（オムロンエキスパートリンク株式会社（保健師））

参加者数：30名

### (3) 幹事会

日時：2025年9月7日（日）12：30～13：00

場所：錦城閣

### (4) 近畿産業歯科保健部会臨時研修会

日時：2026年2月7日（土）15：00～17：00

場所：大阪府立労働センター（エル・おおさか）

テーマ：「ストレスチェックの進め方」

演題：「ストレスチェックについて」

講師：豊川 彰博（株式会社豊川産業医事務所 代表取締役）

参加者数：19名

## 5. 地方会ニュースの発行

近畿地方会ニュースを年2回（132号～133号）発行。

## 6. ホームページの更新

地方会ホームページを随時更新し、メールアドレスの登録がある会員宛に研修案内を送るなど地方会会員に迅速に情報を提供した。

## 7. 地方会プロジェクト

### 1) 若手活性化プロジェクト

#### (1) 第4回わかりやすい統計講座「実践編」

日時：2025年11月1日（土）13：30～16：00

場所：大阪公立大学医学部学舎 阿倍野キャンパス4階中講義室1

講師：林 朝茂（大阪公立大学大学院医学研究科産業医学 教授）

協力：大阪公立大学大学院医学研究科産業医学教室

参加者数：20名+幹事8名

#### (2) 第5回若手活性化イベントの開催

「ゆるっとトーク：今まで相談しにくかったあんな話、知りたかったこんな話」

日時：2月8日（日）10時～15時00分

場所：ふれあい貸会議室No.128（大阪駅前第一ビル5階）

内容：トークテーマに沿って意見交換、フリートーク

A「はじめての産業保健」私、こんなことで悩んでいます！

B これからどうなる？ 私たちの産業保健

参加者数：46名（うち幹事・実行委員12名）

懇親会参加者数：31名（うち幹事・実行委員11名）

## 8. 研究会、研修会等

### 1) 日本産業衛生学会近畿地方会産業精神衛生研究会

#### (1) 研修会の開催

日時：2025年11月5日（水）18：30～20：30

場所：エル・おおさか 南ホール

テーマ：「企業におけるハラスメント対策」

演題：「産業保健現場のデータから見るパワハラの実状」

講師：木村 隆（一般財団法人近畿健康管理センター 理事長）

演題：「精神科医×産業医として伝えたいハラスメント対応のポイント」

講師：大林 知華子（Actwith 株式会社代表取締役／ロート製薬株式会社 統括産業医）

参加者数：86名

### 9. 役員選挙の実施

なし。

### 10. 近畿産業衛生学会優秀演題賞・若手奨励賞

近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考：3名

木下 真由美（パナソニック健康保険組合パナソニック京田辺健康管理室）

黒木 和志郎（パナソニック健康保険組合産業保健センター）  
坂手 誠治（京都女子大学）

近畿産業衛生学会若手奨励賞の選考：1名

谷川 茉帆子（株式会社平和堂健康サポートセンター）

## 2026年度事業計画

### 1. 地方会学会の開催

#### 第66回近畿産業衛生学会

日時：未定

場所：未定

学会長：未定

企画：未定

### 2. 地方会総会の開催

#### 第74回近畿地方会総会

日時：2026年5月27日（水）

場所：大阪国際会議場

#### 第74回近畿地方会学術講演会

日時：2026年5月31日（日）

場所：大阪国際会議場

### 3. 地方会役員会（代議員会・理事会・幹事会）の開催

#### 代議員会

第1回 2026年5月27日（水）大阪国際会議場

第2回 2026年11月予定 大阪公立大学医学部学舎で開催予定

#### 幹事会

第1回 2026年4～5月web、または、大阪公立大学医学部学舎で開催

第2回 2026年秋 web で開催

### 4. 地方会部会活動

#### 1) 産業医部会

(1) 第31回近畿産業医部会研修会

日時：2026年10月17日（土）

(2) 役員会2回開催予定（産業医部会研修会時、2月頃）

#### 2) 産業保健看護部会

(1) 定例研修会開催：2027年1月（詳細未定）

(2) 産業保健看護専門家制度「登録者認定試験」実施協力：2026年6月

(3) 幹事会：3回以上開催予定

(4) メールマガジン配信（随時）

(5) 近畿産業保健看護部会活性化及び、業務効率化

#### 3) 産業衛生技術部会

(1) 2026年度近畿産業衛生技術部会研修会

日時：2026年7月に開催予定

場所：大阪市内の貸会議室

(2) 幹事会：5月、7月、11月実施予定（技術部会研修会時等）

(3) 2026年度産業衛生技術部会総会

日時：2026年11月に開催予定

#### 4) 産業歯科保健部会

(1) 2026年4月～5月に近畿産業歯科保健部会総会開催予定

(2) 2026年8月～9月に第5回近畿産業歯科保健部会研修会開催予定

(3) 幹事会：3回開催予定

### 5. 地方会ニュースの発行

年2回の発行予定

### 6. ホームページの更新

地方会ホームページを随時更新し、地方会会員に迅速に情報を提供する。

### 7. 地方会プロジェクト

#### 1) 若手活性化プロジェクト

(1) 参加型イベント（詳細未定）

(2) 産業保健職としてのレベルアップにつながるイベント（詳細未定）

### 8. 研究会、研修会等

1) 日本産業衛生学会近畿地方会産業衛生学会近畿地方会産業精神衛生研究会

1回/年開催予定（11月頃）

### 9. 役員選挙の準備・実施

実施。

### 10. その他

近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考はなし。

近畿産業衛生学会若手奨励賞の選考はなし。

## 産業医部会からのお知らせ

### 第30回近畿産業医部会研修会 の開催報告

パナソニック健康保険組合  
産業保健センター 健康管理センター  
黒木 和志郎



2025年10月25日(土)に国民會館大ホールにて産業医部会研修会を当方が実行委員長となり開催させていただきました。本会では「疲労と就労(科学的評価と実践)～すべての働く人に対して～」をテーマに2題の基調講演とシンポジウムを行いました。

大阪公立大学健康科学イノベーションセンターの水野敬先生からは、疲労と科学的評価の観点から、疲労は未病段階の主要課題であり、慢性疲労は生理的老化と関連し、仕事のパフォーマンス低下へも影響を認めること、自律神経機能の定量的評価の重要性が紹介されました。さらに緑裁・木質など環境的アプローチによる自律神経の回復促進も提案されました。次に労働安全衛生総合研究所の久保智英先生からは、労働者の疲労の観点から、「疲労は悪ではなく自然な生理反応」であり、疲労回復3原則、「疲れたら休む(個人)・休める(集団)・休ませる(社会)」の仕組みと日本に根強い「休むことへの罪悪感」からの意識転換やレスタビリティ(休む力)といった概念の重要性を説明されました。

シンポジウムでは、かんさい産保サービス合同会社代表の内山鉄朗先生から、実務経験から長時間労働面談での事例をもとに疲労評価の目的は健康障害の予防であり、面談では「これからの見通し(自己効力感や限界感)」を丁寧に聴く大切さが紹介されました。その後の3人の先生方とのディスカッションでは、「評価・休む力を育てる・休ませる仕組み」の三層のアプローチの重要性や、データ活用における目的の明確化と情報管理の在り方について議論されました。

私はこれまで職域で疲労軽減のために睡眠指導を主に行ってきましたが、本研修を通じて、睡眠だけではなく、積極的休養やオフを意識的に確保することが、個人のレスタビリティを高める鍵であると実感しました。職場の風土づくりも含め、疲労を「悪」とせず可視化し、休む力を育てる産業保健活動を推進していきたいと思えます。

### 第31回産業医部会研修会のお知らせ

産業医部会は毎年秋に研修会を開催しています。今回は豊富な産業医経験をお持ちの萩原先生にご講演いただきます。萩原先生は大阪産業保健総合支援センターの相談員としても活躍され、産業保健の現場(フィールド)に即した実践的な事例検討を通して、「産業医のあるべき姿」をクリアカットにお話しくくださいます。2026年は大阪で日本産業衛生学会が開催されますが、『復職・就業措置の判断に難渋する事例検討会』でもご登壇の予定

です。日々の実践に役立つこの研修会を楽しみにお待ちしております。

テーマ：「これからの産業医が求められる専門性～法律知識を基盤とした新たな価値創造～」

日時：2026年10月17日(土) 14:00～16:00

場所：エル大阪 会議室606

〒540-0031 大阪府大阪市中央区北浜東3-14

講師：萩原 聡先生

((株)萩原労働衛生コンサルタント事務所 代表  
医療法人ひまわり会 理事長)

産業衛生学会近畿地方会産業医部会  
大阪ガス(株)人事部 Daigas グループ健康開発センター  
濱田 千雅

## 産業保健看護部会からのお知らせ

### ○近畿産業保健看護部会会員の皆様

いつも部会活動にご協力いただきありがとうございます。さて、本年5月には、いよいよ第99回日本産業衛生学会が大阪で開催されます。産業保健看護職向けの主な企画を3つご紹介します。産業保健看護専門家制度に登録されている方は近畿で多くの継続研修単位取得のビッグチャンスです！是非ご活用ください。みんなで大阪開催を盛り立てていきましょう。

### 【第99回日本産業衛生学会部会企画関係のお知らせ】

①シンポジウム8「保健師のコアバリュー・コアコンピテンシー～個別、組織を対象とした合意と問題解決を導くコミュニケーション～」:

5月28日(木) 16:00～18:00 第5会場

②フォーラム4「無関心層へのアプローチ 学術と実践が拓く産業保健看護の可能性～“参加したくなる”仕掛けをデザインする～」:

5月29日(金) 15:50～17:50 第6会場

③研修会2(ワークショップ)「経営層も納得する職場診断から、効果的な施策につなげよう」:

5月30日(土) 14:00～16:00 交流イベント会場

\*認定単位の詳細は「産業保健看護専門家制度委員会HP」をご確認ください。

### ○近畿地方会の産業保健看護職で産業保健看護部会未入会の皆様

産業保健看護部会では部会員を募集しています。(活動費年2,000円)

産業保健看護部会は学会内の産業保健師・看護師、約1,900名の組織です。部会企画の各種研修会の参加費優遇などのメリットがあります。一緒にスキルアップ、ステップアップしませんか？入会方法については、以下をご覧ください。

産業保健看護部会 HP:

[https://sangyo-kango.org/wp/?page\\_id=33](https://sangyo-kango.org/wp/?page_id=33)

部会長 鈴木 純子

## 第65回近畿産業衛生学会を開催して

第65回近畿産業衛生学会 学会長 西田 和彦  
(長谷エクリニック)



第65回近畿産業衛生学会を2025年11月8日(土曜)にドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)にて開催いたしました。お陰様で天候に恵まれ、参加者は317名と盛会に終えることができました。多くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。一般演題、教育講演、基調講演、シンポジウムの演者の先生方、ご発表ありがとうございました。また各座長の先生方、実行委員ならびにボランティアの皆様には大変お世話になりました。特に事務局の先生方、林朝茂先生、佐藤恭子先生には多大なるご指導・ご協力をいただき、準備のために多くの時間を費やしていただきましたこと、大変感謝いたします。どうもありがとうございました。

さて今回のテーマは、「生涯現役社会に向けた産業保健の取り組み」としました。「人生100年時代」や「生涯現役社会」という言葉をよく耳にするようになり、現役世代すべての働く人に対して我々産業保健職は、「生涯現役社会」の礎を築く非常に重要な役割を担っていくことからこのテーマを選びました。

一般演題には17演題投稿いただきました。例年その中から優秀演題賞、若手奨励賞を1演題ずつ表彰するのですが、どの演題も素晴らしく甲乙つけがたく優秀演題賞3題、若手奨励賞1題を選出致しました。優秀演題賞には、パナソニック健康保険組合パナソニック京田辺健康管理室 木下 真由美先生、パナソニック健康保険組合産業保健センター 黒木 和志郎先生、京都女子大学坂手 誠治先生が受賞され、若手奨励賞には、株式会社平和堂健康サポートセンター 谷川 茉帆子先生が受賞されました。

午後からは産業医研修会を兼ねました。教育講演として、大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学教授

山本 浩一先生に、高血圧に関する話題を中心に「人生100年時代の就労と健康：中高年労働者における血圧管理と産業保健の役割」についてご講演いただきました。次に基調講演として、産業医科大学 高齢労働者産業保健研究センター長・教授 財津 将嘉先生に、転倒災害の疫学、転倒災害と生活習慣病との関連性などの話題を中心に「生涯現役を支える身体バランス：労働災害の疫学が示す未来」についてご講演いただきました。シンポジウム「生涯現役社会に向けた女性への産業保健の取り組みを考える」では、女性特有の健康課題ならびにそれに対する産業保健の取り組みについて、赤羽乳腺クリニック院長 赤羽 和久先生に、「生涯現役社会のための仕事と治療の両立支援～乳がん患者への取り組み～」を、(株)コーサー ライフ&ウェルネスサポートセンター ウェルネス推進室 高木 智子先生に「産業保健師がつなぐ「健康」と「働く」のこれから～女性が安心して働き続けられる企業を目指して～」を、大阪歯科大学歯学部口腔衛生学講座 安田 恵理子先生に「妊婦から始まるお口の健康～産業保健が要(かなめ)～」をご講演いただきました。どの講演も日々の産業保健活動に役立つ内容で私自身大変勉強になりました。その後、会場を近くのレストランに移し懇親会を開催し、演者の先生方と共に親睦を深めることができました。また、午後からのプログラムをYouTubeにて期間限定で近畿地方会員に配信し、のべ328回視聴と多くの方に視聴いただきました。

最後になりますが、本学会にご参加いただいた先生方、YouTubeをご視聴いただいた先生方、ご支援・ご協力をいただきましたすべての先生方・関係者の皆様により感謝申し上げます。



## 第 65 回近畿産業衛生学会の報告

## 第 65 回近畿産業衛生学会優秀演題賞を受賞して

京都女子大・家政・食物栄養

坂手 誠治



このたびは栄誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。関係の皆様にも心より感謝申し上げます。

本演題では、造船業に従事する労働者を対象に、夏季作業時の熱中症の実態と生活習慣との関連について検討いたしました。2024年度は、熱中症経験者および自覚症状を有する者の割合が2022年度に比べて高く、気象要因の影響が示唆されました。さらに、過去の熱中症経験や持病の有無に加え、夏季の体重減少、食事量・回数や睡眠時間の減少などの生活習慣と熱中症の経験や自覚症状の有無との間に有意な関連が認められました。これらの結果は、造船業における熱中症対策において、作業環境の整備のみならず、日常的な体調管理の重要性を示すものと考えられます。

今回の受賞を励みとして、今後は本知見を踏まえ、より実効性の高い予防対策の構築に努め、労働現場における熱中症予防の推進に一層貢献してまいります。

## 第 65 回近畿産業衛生学会の報告

## 第 65 回近畿産業衛生学会優秀演題賞を受賞して

パナソニック健康保険組合

産業保健センター 健康管理センター

黒木 和志郎



この度は第 65 回近畿産業衛生学会にて栄誉ある優秀演題賞を賜り、選考委員の方々ならびに関係各位に心より御礼申し上げます。本発表の概要ですが、当社における産業保健支援形態による健康リスク比較を久山町研究に基づく10年間の動脈硬化性疾患発症リスク値(ASCVDリスク値)を用いた横断的研究を行いました。事業場に産業保健スタッフが常駐する「常設型」や小規模分散事業所を担当する「分散支援型」は、支援ができていない「未支援型」と比較し、男性において中～高リスク該当者が有意に少ない結果を認めていました。また性別や年齢、職種、治療状況を考慮しても、ASCVDリスク低下に産業保健支援が独立した因子として関連を認めていました。産業保健スタッフの支援は、職域集団の心血管リスク低減に関連することが示唆されました。今後も未整備事業場を含めた支援強化とともにエビデンスに基づく産業保健体制の整備に努めてまいります。

## 第 65 回近畿産業衛生学会の報告

## 第 65 回近畿産業衛生学会優秀演題賞を受賞して

パナソニック健康保険組合

パナソニック京田辺 健康管理室

木下 真由美



この度は優秀演題賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。職場の活動が評価されたことを大変うれしく思います。

高齢化が進む職場で、転倒予防と元気に働く体づくりを目指した本活動は、トップの理解と組織横断の協力、そしてMicrosoft Teamsを活用した見える化により着実に定着しました。撮影・審査・評価を通じ、個々の運動習慣や姿勢改善を実感できた声は何よりの励みです。

今後は在宅勤務・交代勤務など多様な働き方の従業員の参加を促進し、継続性の高い健康支援を強化します。皆で楽しみながら健康文化を育み、安全と生産性の両立を実現していきます。ありがとうございました。

## 第 65 回近畿産業衛生学会の報告

## 第 65 回近畿産業衛生学会若手奨励賞を受賞して

(株)平和堂・健康サポートセンター

谷川 茉帆子



この度は若手奨励賞を頂き、誠にありがとうございます。選考委員の先生方はじめ学会関係者の皆様、並びにご指導頂いた平和堂の皆様にも心より感謝申し上げます。

健康診断の事後措置を行うなかで、高血圧やメタボリック症候群を有する社員に、多血症を合併する者が多い印象を持ちました。そこで今回、当職域における多血症と高血圧の関連について分析したところ、多血症は肥満や年齢等と独立して高血圧に関連することが分かりました。多血症と高血圧が相互に関連している可能性や、共通した原因疾患として、睡眠時無呼吸症候群等が関与している可能性を考察しました。これまで貧血については医師指導等の介入を行っていましたが、本発表を契機に、多血症にも注目しようと思います。

この度は大変貴重な経験をさせて頂きました。今回の受賞を励みに、今後も産業保健に携わる一員として、一層精進に努めて参ります。

## 第 65 回近畿産業衛生学会の報告

## 第 65 回近畿産業衛生学会に参加して

石原歯科医院

石原 宗和



2025年11月8日(土)にドーンセンターにて開催された第65回近畿産業衛生学会に参加した。当日は一般講演17題、教育講演、基調講演、シンポジウムと盛りだくさんの内容であった。

シンポジウムでは「生涯現役社会に向けた女性への産業保健の取り組みを考える」をテーマに3題の基調講演が行われ、その後シンポジウムが行われた。

講演1では「生涯現役社会のための仕事と治療の両立支援～乳がん患者への取り組み～」と題して赤羽乳腺クリニック院長の赤羽和久先生から、乳がん独特の病態について、また診断直後からの離職防止策、相談支援センターや産保センターとの連携、就労者が通いやすい診療体制の工夫など、開業医として実践されている両立支援の取り組みについて紹介された。その中で、医療機関と職場が連携し、患者の人生全体を支えることこそが生涯現役社会の基盤であると話された。

講演2では「産業保健師がつなぐ「健康」と「働く」のこれから～女性が安心して働き続けられる企業を目指して～」と題して、(株)コーサー ライフ & ウェルネスサポートセンターの高木智子先生から、女性特有の健康課題への理解を深めるための男性社員や管理職に向けた研修の事例紹介があり、職場での配慮行動やサポート意識の醸成を図ることが重要であると話された。その中で産業保健師は個別支援と組織的な施策を橋渡しするハブとしての役割を果たし、企業の持続可能性と健康経営の両立を支えることが期待されると述べられた。

講演3では「妊婦から始まるお口の健康～産業保健が要(かなめ)～」と題して、大阪歯科大学歯学部安田恵理子先生から、歯・口腔の健康はすべてのライフステージに関わる、そのスタートの胎児はイコール妊婦の歯科保健であり、その前の段階から歯科リテラシーを向上させておくことは重要である。そして、妊婦の歯周病が早産や低体重時出産に影響していること、それに伴い生まれてくる子どもに影響を与えること、さらに出産後に生活習慣の乱れがあると、思わぬところに大きな影響が出ることがあるので、妊婦の時から、その前からの歯科保健は非常に重要であると述べられた。

女性の健康管理の大変さ、重要さを改めて認識させられる非常に有意義なシンポジウムであった。

## 第 65 回近畿産業衛生学会の報告

## 第 65 回近畿産業衛生学会に参加して

JR 西日本(株)

近畿健康増進センター 保健師

小嶋 伸



2025年11月8日、大阪のドーンセンターにて長谷工クリニックの西田和彦学会長のもと開催されました。以下、印象に残った2題をご報告いたします。

1題目は大阪大学の山本浩一教授のご発表で、「将来的にカフレス血圧で正確値が測定できるようになれば、血圧変動の要因に沿った管理方法・介入が可能になる」との内容でした。昨今は中高年労働者の長期就労が可能になったと同時に、労災リスクも高まってきています。特に、血圧は、転倒や事故の内因性要因であり職場安全に直結するものの、現状では就労中のどの作業や環境に起因するかは不明でした。山本教授のご発表によれば、PWA法を応用したスマートウォッチ、指輪型、顔認証型等のカフレス測定によって理論上は可能であるが、正確値を得るにはさらなる検証が不可欠だと述べられていました。将来的に、ウェアラブル端末による就労中のカフレス血圧がリアルタイム測定できるようになれば、血圧変動評価が簡便に行え、早期にリスク検出が可能になると期待されます。そんな時代が来たら、社員にどんな働きかけができるかを想像させられるご発表でした。

2題目は産業医科大学の財津将嘉教授のご発表で、「労災発生確率を減らすには、身体バランスの維持を基盤とした予防対策がカギ」といった内容でした。身体能力は50代以降で急激に低下するものの、本人の意識と実際の身体能力にはギャップがあるため、「転倒等リスク評価セルフチェック票」等で体感的に学べる機会が重要だと述べられていました。こと弊社においても、上記のセルフチェック票を用いたイベント「体力測定会」を部署単位で取り組んでいる最中でもあります。これからも、身体感覚やワクワク感を通じて転倒予防を考えるきっかけを作り続けたいな、と思わせるご発表でした。

最後になりますが、本会ではボランティアとして運営に携わりました。学生時代の実習指導や前職でお世話になった方々とお会いでき、今後の保健師活動のモチベーションにつながる機会となりました。

**第35回日本産業衛生学会全国協議会の報告****第35回日本産業衛生学会全国協議会  
に参加して**

パナソニック健康保険組合

村澤 駿昂



第35回日本産業衛生学会全国協議会が2025年11月27日から29日にかけて徳島県で開催され、「すべての労働者が元気に働ける産業保健をめざして」をメインテーマに、多彩で充実したプログラムが提供されました。会場は多くの参加者で活気にあふれ、産業保健に携わる者として学びと交流の双方を深められる貴重な機会となりました。

メインシンポジウム「すべての労働者が元気に働くための両立支援」では、治療と仕事の両立支援に関する最新の取り組みや、現場で直面する課題への多角的な視点が示され、日々の産業保健活動に直結する知見を得ることができました。また、働く人々の健康保持増進をテーマとしたセッションや、腰痛をはじめとする身近な健康課題を取り上げたフォーラムにも参加し、産業保健に携わる者として基礎から応用まで幅広く活かせる知見を得られました。

特に印象に残ったのは、「すべてのはたらく人々を支えるワクワクする産業保健活動の模索～おひとり様大歓迎！しなやかな働き方・つながり・楽しみ方の実践とは？」です。発表者の皆様が、産業衛生学会との関わりがどのように現在の活動に影響しているかを語られ、学会の魅力や新規入会者をどのように迎え入れているか、その具体的な取り組みを知ることができました。学会が単なる知識の場ではなく、仲間づくりや活動の広がりを生むコミュニティとして機能していることを改めて実感しました。

魅力的なプログラムが多く、時間帯によっては参加できないものもありましたが、オンデマンド配信で後日視聴できる点は非常にありがたく、学びの機会を逃さずに済みました。知識の習得はもちろん、新たな出会いや同じ産業保健に携わる仲間存在を強く感じられたことが、今回の学会参加の大きな収穫でした。次回以降も積極的に参加し、学びと交流を深めていきたいと考えています。

**2025年度産業保健看護部会定例研修会報告****2025年度産業保健看護部会定例研修会  
に参加して**

大阪ガス(株)・人事部

Daigasグループ・健康開発センター

松永 睦子



2025年10月4日に産業保健看護部会定例研修会が開催されました。講演会「企業での健康情報等の取扱いと法～メンタルヘルス情報を焦点に～」では、近畿大学法学部三柴丈典先生より、健康情報を扱う際の基本的な考え方について、関連する法律や判例を交えながらご講義いただきました。ワークでは、健康診断結果や法定面接の情報をどのように扱うか、産業保健スタッフ間での共有や本人への開示をどう進めるかなど、実際の場面を想定した事例についてグループで意見交換を行いました。日頃の対応を振り返るだけでなく、職場のルールや体制が適切に整備されているかを見直す良い機会となりました。また、三柴先生の「人々、組織の健康をまもるプロとして」というお言葉は大変印象的であり、産業保健看護職として法的知識を備え、信頼関係を大切に健康管理を進めていく重要性を改めて確認しました。

懇談会では、産業保健看護部会会長の五十嵐千代先生より、産業保健看護職を取り巻く最新の動向や、日本看護協会「働き盛り世代を支える健康を支える研究事業」の報告をご紹介いただきました。今後の課題として、教育・研修の強化と制度化、産業保健体制の充実(特に中小企業支援)、法令・制度の見直しや整備、健康経営における産業保健看護職の活動促進などが挙げられました。また、「職場診断と経営層との連携」においては、個人と企業全体の健康をウインドミルモデル(風車モデル)で捉え、職場診断を行う意義が示されました。ウェルビーイングや健康経営の視点が広がる中で、産業保健看護職が職場の課題や強みを見える化し、共有していく役割の重要性を改めて感じました。日々の活動の中で職場診断を活用し、保健統計だけでは把握しきれない職場の特徴を捉え、根本的な保健事業計画につなげていく力を養っていきたく感じました。

ご講演頂きました講師の皆様、企画、運営担当の皆様  
に心から感謝申し上げます。

## 若手活性化プロジェクト

### 若手活性化プロジェクト報告



(財) 京都工場保健会  
高津 一誠

令和7年11月1日、大阪公立大学にて開催された産業衛生学会主催「若手活性化プロジェクト・疫学セミナー」に参加しました。本セミナーは、林朝茂先生を中心に、統計解析ソフト Stata を用いて多重ロジスティック回帰分析に触れることを目的とした内容でした。気持ちが若ければどなたでも参加可能ということで、幅広い年代の産業保健スタッフの方々が参加されていました。

私自身、大学1年次に授業で統計学に触れて以来10年ぶり、知識も乏しく苦手意識を持っていました。そこで事前準備として、医療統計学の入門書を1冊読み、事前に配布された Stata の初心者向けプログラムを試してから参加しました。

当日は、まず多重ロジスティック回帰分析の意義や統計学の基礎についての講義があり、その後、実際に Stata を用いてサンプルデータの解析を行いました。林先生の丁寧な解説とわかりやすい資料、さらに会場内で常にサポートしてくださるスタッフの方々のおかげで、全員が無事にデータ整理から解析までを体験することができました。喫煙と虚血性心疾患との関連を題材に、実際に結果を得られたときはすごくうれしかったです。事前に一度 Stata に触れ、基本的な操作を試しておいたおかげで、セミナー当日はツールの操作方法に気を取られることがありませんでした。その結果、分析結果の解釈

や、資料に乗っていない林先生のお話などに集中できたと感じています。これから参加される方はぜひ Stata の簡単な操作だけでも確認しておくことをお勧めします。

統計セミナーは受講費が高額でサポート体制も限られることが多い中、今回は無料で手厚いサポートを受けられる貴重な機会でした。統計解析に初めて触れる方にとって、まさに第一歩となるようなセミナーだったと思います。

また、講義中に林先生がおっしゃっていた「医療統計は医療従事者が担うことでより有用なものとなる」という言葉が印象に残りました。医療の背景知識を持つ者が解析結果を解釈することの大切さを改めて実感し、今後、産業医学の領域でも自ら統計解析を行えるように学びを深めていきたいと感じました。

セミナー終了後には、近隣で懇親会も開催され、先生方や参加者の皆さまと交流を深める貴重な時間を過ごすことができました。

今回のセミナーを通じて、統計解析に苦手意識のある方こそ参加すべきだと強く感じました。「まずは触れてみることで、意外と何とかなる」と気づく良いきっかけになると思います。最後に、本セミナーの開催にご尽力くださった関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

\*\*\*\*\*

### 選挙管理委員会からのお知らせ

1) 本年度は近畿地方会役員（次期地方会長、次期監事、次期代議員）選挙および理事候補者選挙の年です。選挙にあたりまして、下記の点にご留意ください。

① 7月31日までに会費を全納してください。

7月末までに未納の場合、選挙人・被選挙人として名簿に登録されませんのでご注意ください。

② メールアドレス、勤務先、自宅住所などの変更があれば、日本産業衛生学会ホームページより、最新のものに更新してください。

日本産業衛生学会ホームページ <https://www.sanei.or.jp/> ⇒ 【会員ログイン】 ⇒ 【マイページ】 ⇒ 【プロフィール変更】

③ 次期地方会長、監事の自薦他薦を募集します。

近畿地方会ホームページより次期地方会長および監事の立候補・推薦の届け出用紙をダウンロードし、必要事項を記載したうえ、メールにて送付ください。

2) 次期代議員は近畿地方会選挙細則（2022年2月10日に改正）に基づき、8月15日頃に中央選挙管理委員会から届く名簿に記載された方全員を選挙管理委員長が被選挙人として推薦します。選挙は日本産業衛生学会のホームページから9月に実施します。詳細な選挙案内は9月中旬（予定）までに発送します。

※代議員選挙人、被選挙人に関する条件

選挙人：2025年度より引き続き正会員であり、かつ

2026年7月31日までに会費を全納した正会員

被選挙人：2025年度より引き続き正会員であり、かつ

2026年7月31日までに会費を全納し、10月

31日時点で69歳以下の正会員

上記条件を満たさない場合、選挙人・被選挙人として名簿登録されません。

※選挙細則については近畿地方会ホームページ <https://jsoh-kinki.jp/> をご確認ください。細則のほか、選挙公告や選挙管理委員会からのお知らせなど、選挙関連の記事を掲載します。

## 第5回若手活性化プロジェクトイベント

タイトル：「ゆるっとトーク：今まで相談しにくかった  
あんな話、知りたかったこんな話」

開催日時：2026年2月8日10時～15時

参加者数：46名

【開催報告】イトーキ健康保険組合 清水 彰子

2023年に初めて参加した若活イベントに今回は実行委員として参画しました。一緒に実行委員を務めた福田郁巳さん、伊藤得路先生とはこれまでの若活イベントをきっかけに交流が始まり、今回このような機会に恵まれたことを嬉しく思っています。これまでの会がとても楽しいものでしたので、その経験を活かしつつ、私たちらしさを尊重いただき、今回は「ゆるっとトーク」をテーマにしました。匿名投稿ツール mentimeter で参加者の声をリアルタイムに可視化できたことや、何より参加者の皆様が積極的かつ温かく場を作り上げてくださったおかげで、盛会のうちに終えることができたと感じております。私自身この活動を通じて、同じように日々、産業保健分野で頑張っている方々との横のつながりだけでなく、先輩方や新しく産業保健を始められた方等縦のつながりまで広げることができました。孤独になりがちな産業保健という分野でこのつながりは大きな励みになっています。今回の会がご参加いただいた自称若手の皆様にとっても、明日からの業務に役立つ一助となっております



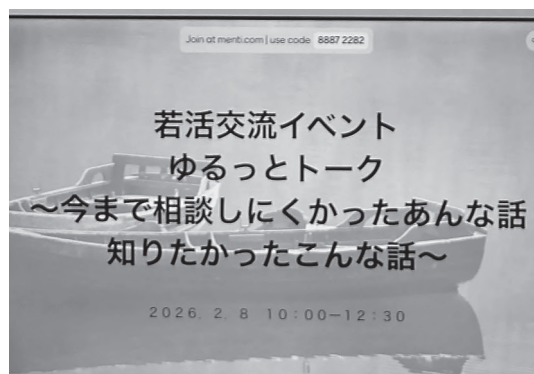
したら嬉しく思います

【参加報告】(公財)兵庫県予防医学協会 松本 梨香

今回のコンセプトは“ゆるっと”ということで、服装はリラックスできる服装、トークテーマはあえてゆるっと決まっていました。6人前後の参加者と若活幹事・実行委員の先生でグループとなり、普段の困りごとや悩み事についてお菓子を食べながら話しました。

私の参加目的は“仕事の困りごとや悩みを話す相手が少ないので、今後も話せる仲間をつくる”ことでした。他の参加者は“産業衛生学会が気になっているけれど雰囲気や入り方がわからない”という方、“今後産業衛生分野での活動を考えています”という方、参加理由も職種も様々でした。

懇親会も含めて“ゆるっと”話すことでお人柄も含めて知ることができ、一人職場が多い産業保健職には不可欠な仲間を作ることができたと思います。若活イベントは今回で2回目の参加でした。前回お世話になった方々とは産業衛生学会でもお話しする機会があり、私にとってモチベーションアップになっています。また、普段お話しできないような先生に話すチャンスもあります。アットホームな若活イベント、“自称若手”であればどんな方でもいいそうです。ぜひ一緒に参加してください。



## 編集後記

日本がWBC(ワールドベースボールクラシック)の準々決勝で敗退した翌日にこの記事を書いています。特に野球に入れ込んでいる訳ではない私でもニュースを見て、残念な思いを共有しました。有料でライブ視聴していた皆さんはもっと熱い思いを抱かれたことと思います。一発勝負の短期決戦を勝ち抜くことは本当に大変ですね。一方、我々産業保健の仕事は時間をかけて一進一退の中で成果を上げていく面が強いのではないのでしょうか。月単位、年単位で様々な事案に取り組み、上手くいったもの、予定通り進まないもの、色々な成果の総量で我々は社会に貢献するもの

と思います。そんな我々にとってこの一年の総決算とも言えるべき第99回日本産業衛生学会が5月に大阪で開催されます。林先生、森口先生の強力なリーダーシップのもと素晴らしい大会になるに違いありません。地方会ニュース読者の皆さまと大会で学びを深めることができますことを楽しみにしております。(岡本 昭夫)

編集委員 (50音順)

石原 宗和 井上 幸紀(担当理事)

岡本 昭夫(当番編集長) 清原 達也 村田 理絵